

ケアホーム春日苑(ぐうぐうハウス・すまいる)地域連携推進会議 報告

令和8年2月19日(木)、GH 入居者・ご家族・地域の各代表と法人関係者が集まり、「地域連携推進会議」を開催しました。

1. 会議目的の確認

- ・ 入居者と地域住民との関係づくり
- ・ 障害や施設への理解促進
- ・ 運営の透明性の確保と支援の質向上
- ・ 入居者の権利擁護(虐待防止)

2. グループホームの現状報告

管理者・職員から以下について報告しました。

- ・ 入居者の人数と生活の様子など
- ・ 職員体制と支援方針、生活上の工夫
- ・ 危機管理・虐待防止研修の取り組み

3. 意見交換の主な内容

(1)現状報告を受けて

- ・ 【職員】支援において大切にしていることやひとり職場の苦労、長年寝食を共にする中で第2の家族のような関係づくりを心がけていることなどが報告された。
- ・ 【地域】20年以上も同じ地域に住んでいて、男性が4人で住んでいることや1人のスタッフが日替わりで泊まっているなど知らないことが多くあり、初めて中身について知ることができて良かったとの感想が出された。

(2)入居者・家族の声

- ・ 【入居者】築40年以上の建物により冬は部屋が寒いことや、トイレが1つしかなく順番待ちが起きたりすること、二階の洗濯干し場への急な階段が年々しんどくなっていることなど、生活環境について日頃感じていることの発言があった。
- ・ 【家族】グループホームを利用するきっかけとして、親亡き後の不安もあり少しでも早く家族から離れて暮らす経験をさせたかったという動機や思い。またこの5年間で自我と自立心が生まれたことが何よりも嬉しいこと。ただ本人は発語が無いことから今の職員や生活環境は信頼しているけれど将来にわたって本人の思いを理解していつもらえるかは心配であることも語られた。

(3)地域住民・自治会からの声

- ・ 以前に近隣から騒音の苦情があったが、その後はどうなっているかとの質問があった。
※その件については部屋に防音策を施したり、ご本人が落ち着いて大声や飛び跳ねがなくなり穏やかに暮らせるようになっていたことが職員から報告された。
- ・ ぐうぐうハウスについては、どんな方がどのような暮らしをされているかを地域のほとんどの方が知らない現実があるので自治会などでも紹介していきたいとのご提案をいただいた。
- ・ ご家族に対しても願いや抱える不安など率直な気持ちを聞かせてもらい、知らなかったことを理解するきっかけになってよかったという感想が出された。

4. 参加者の感想

- ・ 【仲間代表】少し難しかった。地域の方とは出会ったらあいさつしたい。
- ・ 【家族代表】今回このような機会に参加できてとても良かった。今後も地域の方々に見守ってもらえることが安心につながっていくので、つながりを大切にしていきたい。
- ・ 【職員代表】ひとり職場で困ったときに地域に理解してくれる方がいるのは心強い。これまで地域住民としての意識は弱かったので、今後は地域の方々とお顔を合わせる機会を増やしていきたい。
- ・ 【地域代表】今回もこれまで知らなかったことを理解することが出来良かった。皆さんのことを地域に伝えていきたいと思う。夜間を一人で泊まっておられる職員さんの大変さも理解できた。困った

ことがあればいつでも頼ってほしい。これからは入居されてる方だけではなく、職員さんの表情や様子も気にかけながら見守っていきたい。

5. まとめと今後の課題

- 入居している仲間の声、グループホームに対するご家族の思い、それを支えている職員の現状と様々な立場の声を地域の方に知っていただけたことで、グループホームの本質を伝える事ができたのではないかと。ただ20年以上この地域でお世話になっているが、まだまだ知られていないことがよくわかったので、今後さらに地域とのつながりを大切に事業所運営を続けていきたい。

日時：令和8年2月19日(木) 10:30～12:00

会場：GH すまいる交流室

参加：入居者代表1名 入居者家族代表1名 地域代表2名 法人代表4名

資料：『ケアホーム春日苑概要』 『こぶし通信 Vol.62 号』

グループホームすまいる見学会

日時 令和8年2月19日(木) 12時00分～12時30分

参加 地域代表2名 法人代表2名

内容 地域連携推進会議終了後にそのまま地域構成員の方が2名、「グループホームすまいる」の見学を行った。1階(男性棟)、2階(女性棟)について施設機能や暮らしぶりについて説明し、また入居者から許可を得た居室についても見学していただいた。

グループホームぐうぐうハウス見学会

日時 令和8年3月18日(水) 19時00分～19時40分

参加 地域代表2名 法人代表1名

内容 地域代表構成員の方が2名、GH ぐうぐうハウスの見学と入居者との交流を実施。

夕食後の比較的落ち着いた時間帯に各居室や共有スペースを見学していただいた。

築40年以上が経過した戸建ての住環境について、障がいの重い人や高齢の入居者の生活の課題について共有した。またコミュニケーションが取れる入居者の部屋を案内してもらい趣味の話や日々の暮らしについて交流がされた。